



令和4年度 校長だより

令和5年3月24日(金)

春日の風

No.12

文責 松下 義彦

努力は必ず報われる

みなさん、おはようございます。

先ほど1年生・2年生のそれぞれの代表に「全課程を修了したことを証する」という修了証を渡しました。この修了証は、皆さんが1年生・2年生で学習する全てのことを身につけて、次の学年に進むことを認めるものです。これから次のステップに向けて自分の決めた目標に向かって進んで欲しいと思います。

さて、みなさんは、この一年間を振り返ってみてどうだったでしょうか。年度当初に立てた目標は達成できたでしょうか。以前にも話したことがありますが、みなさんは、多くの可能性を秘めています。そして、努力によって未来への可能性はどこまでも広げることができます。決してその可能性には、限界がありません。だから、いろんな可能性に挑戦してくれる春日中生であって欲しいと校長先生は思っています。

例えば、学習でいえば、テストで50点を取って悔しかった自分がいます。そして、次は頑張ろうと努力して、次のテストで80点、90点を取ってやろうとします。しかし、実際受けてみると55点という結果でした。この時、みなさんはどのように思いますか。「あれだけ努力したのに無駄な気がする」と思いますか、それとも「まだ努力が足りなかった。まだ、悔しい」と思いますか。実は努力というものはずっと結果があらわれません。例えば、部活動などで考えてください。日々たくさん練習しても本番のその一瞬を迎えようとできない、失敗することがあります。そんな時、失敗をいつまでも忘れられず悔しく寝れないことがあります。しかし、ここで「自分はだめだ」と諦めるのか「もう一度頑張って、次は絶対失敗しないぞ」と決意して練習するのが重要です。できなかったことが、できたときは言葉にできない喜びや感激を味わうことができますが、途中で諦めてしまうとずっとできないままとなります。勉強でも一緒です。50点が55点になる。その努力を繰り返して行けば必ず90点になっていくはずですが、できなかった悔しさを持ち、努力することを決して忘れないでください。みなさんは、いろんな可能性を持っています。自分に限界をつくることなく、自信を持って、できる限りの力で挑戦して欲しいと思います。諦めたら成長はしません。

福岡ソフトバンクホークスの王貞治球団会長は「努力は必ず報われる。もし報われない努力があるのならば、それはまだ努力と呼べない。」と言っています。みなさん、常に挑戦すること、努力することを忘れないで下さい。

さて、話は変わりますが1年生・2年生はそれぞれ学年が上がります。そして、あと2週間ちょっとで新1年生が入学してきます。新2年生は、後輩に教えたり、手助けする立場になります。自分のことだけでなく、周りのことを気遣い、考えて行動できる人になってください。新3年生は、最上級生です。生徒会のスローガンである「ともに～お互いを大切にできる春日中へ～」を実際に行動につなげる春日中生になって欲しいと思います。もちろん、下級生を引っ張っていくことができる上級生になることも期待しています。

これからもみなさんが素晴らしい春日中学校を築いていってくれることを願っています。

